

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
第4回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●平成26年12月18日（木）9:30～11:35、荒川太郎右衛門地区自然再生地（現地）

【議事結果】

- 中池の実施計画範囲は太郎右衛門地区の自然を知ってもらうために面的に良い空間であり、散策するのにとても良い。現在の通路を活かすことができる。
- 下池のハンノキ移植用試験掘削地に、試行的に、水没していない各段と法面に3本ずつ程度のハンノキを移植して経過を観察する。

【主な議事内容】

◎協議事項

●中池全体に共通

1) 通路・看板の整備

- ・ 中池の実施計画範囲は太郎右衛門地区の自然を知ってもらうために面的に良い空間であり、散策するのにとても良い。現在の通路を活かすことができる。
- ・ 現状でも歩ける状態の通路になっているので、杭を打ってロープを張るだけでも通路らしくなると思われる。チップを敷いても良いかもしれない。
- ・ 少し広い場所の方が歩きやすいので、狭いところは広げた方が良いかもしれない。
- ・ 旧流路付近や堤防側の通路入り口付近には看板が欲しい。
- ・ 湿地（池）などに名前をつけた方が管理上も観察等の利用上も良いと思われる。

2) 通路・植生の管理

- ・ 一帯がサバイバルゲームで利用されているようであり、管理のあり方を考える必要がある。
- ・ キツタが絡まった木が多い。倒木に至るようならキツタは排除したい。
- ・ カナムグラ・クズが増えているところではオギが倒されている。火入れしたいが、飛行場に近いので難しいと思われ、別な管理方法を考えたい。

●上池・中池横堤、堤防付近の通路入り口

- ・ 看板が欲しい。

●中池旧流路河岸付近

- ・ ところどころでは旧流路の水面が眺められるような整備をしたい
- ・ 看板が欲しい
- ・ 旧流路の河岸沿いの通路ではゴミが多い。大きなゴミや大量のゴミは、通路が車で入れる状態だった頃のもので、現在はこうしたゴミは減っていると思われる。新しいゴミではペットボトルなどが多い。
- ・ 年に1回くらいゴミ拾いイベントをしたい。
 - 荒川クリーンエイドに参加して行う方法がある。
 - 地域の人、行政、企業、学校を巻き込んで協議会主催で行い、拾ったゴミは自治体に処理してもらうと良い。

- ・ 旧流路の河岸部ではササ・タケ類がかなり増えている。結果としてシンジュの侵入抑制になっているかもしれないが、注意が必要である。管理方法を考えたい。
- ・ ところどころでオオブタクサやシンジュが増えているところがある。これらの場所はかつては明るい良い雰囲気の出発点であった。このような部分の改善を考えたい。
- ・ 休日は対岸のサーキット場の音がかなり聞こえるのが課題である。

●中池実施計画範囲の中央の通路

- ・ 両側にシンジュが生育しつつある。早めに対処したい。

●中池実施計画範囲の外の通路

- ・ 協議会での管理は難しいため、太郎右衛門地区の散策路としての位置づけだけをする。

●下池ハンノキ移植用試験掘削地

- ・ 整備の主目的は管理作業低減のために外来種が繁茂しにくい地盤高を検証することであり、来年度のモニタリングは植物の調査を予定していることについて了解する。
- ・ 試行的に、水没していない各段と法面に3本ずつ程度のハンノキを移植して経過を観察する。
- ・ 土壌調査の必要性についても考えた方がよい。
- ・ 旧流路との接続部の両岸にシンジュの大きめの木が残っているので、伐採して欲しい。
- ・ 掘削地の周囲に設置を予定していた柵を道路沿いに変更して移植地全体への出入りを制限する形とし、代わりに掘削地の周囲はチェーンを張ることを了解する。

●その他

- ・ 次回の1月17日土曜日の現地開催の委員会は利用者の状況確認を目的とする。

以上